

関係者各位

国際基幹教育院長

教員の公募（女性限定）について（依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、金沢大学国際基幹教育院では、専任教員を下記のとおり募集いたします。  
つきましては、関係各位への周知方、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 募集人員      テニユア・トラック准教授（女性）またはテニユア・トラック助教（女性）1名  
【任期：5年】

テニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニユア教授への昇任又はテニユア准教授への移行が可能です。テニユア審査において、テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。本学テニユア・トラック制度の規定については、下記URLをご覧ください。

<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/tenure.pdf>

※テニユア付与基準の概略

- (1) 国内外で、分野における研究成果が特に優れていると認められること
- (2) 適正に計画された研究計画が達成されていること
- (3) 十分な競争的研究資金を獲得していること
- (4) 学生に対する教育成果（大学院を含む研究指導、講義内容）が優れていると認められること

2. 着任時期      令和9年1月1日

3. 所 属      金沢大学国際基幹教育院GS教育系

4. 職務内容      金沢大学国際基幹教育院では、基幹教育（学士課程、修士課程及び博士課程それぞれの教育の基盤をなす教養的教育）を強固に推進することによって、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引しています。

当該取組をさらに強化するため、認知行動科学を研究対象とする教員を公募します。採用者には、人間社会環境研究科人文学専攻の認知科学プログラムに所属し、人間の認知・判断・行動の基盤となるメカニズムについての基礎研究、およびその結果を教育・健康・ヒューマンインタフェース等の分野での社会実装につなげる応用研究を学内外の関連組織と連携しながら進めること、さらに認知科学・行動科学等に関する学士、修士、及び博士課程教育を担当することを求めます。採用者は、次のいずれかのキーワードに関する研究実績を有していることが望まれます。

研究キーワード：認知神経科学、脳機能と行動、知覚・注意・意思決定、学習・可塑性、身体性認知、計算論的認知モデル、認知エンパワメント

<具体的職務>

- ① 認知行動科学に関する研究及びチームとしての認知エンパワメント研究  
（脳機能・生理指標・行動データ等を統合的に扱う研究を進め、基礎研究のみならず外部団体と積極的に交流して応用性の高い研究に取り組む）

- ② 人間社会環境研究科人文学専攻の大学院科目の担当  
(「行動科学特論」「行動科学演習」等、認知科学関連科目を担当する)
- ③ 学域GS発展科目の担当  
(学士課程3~4年生向け科目「行動科学がもたらす認知エンパワメント」等を担当する)
- ④ 共通教育科目GS科目の担当  
(GS科目「認知科学の基礎と社会実装」等及びオムニバス開講GS科目の担当)  
※授業は基本的に日本語で行いますが、上記②~④の授業は英語で実施していただく場合があります。

5. 専門分野 認知行動科学関連分野

6. 応募資格 次のいずれの条件にも当てはまる者

- (1) 博士の学位を有すること(採用時まで博士の学位を取得見込みの者も含む)又はそれと同等の教育研究能力を有すること。
- (2) 上記4の職務内容を遂行する上での必要な資質・能力及び熱意を有する者
- (3) 英語および日本語による授業・学生指導、ならびに日本語による学内運営を遂行できる能力を有することが望ましい。
- (4) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

※「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための経過措置として女性に限定した公募を実施します。

7. 提出書類 以下の(1)から(8)をすべて提出すること

- (1) 履歴書(写真貼付) ※様式自由、下記の項目を記載すること
  - ①氏名(自筆のこと)、②生年月日、③現住所及び連絡先(電話、メールアドレス)、④学歴(高校卒業以降について記載)、⑤職歴(全ての職歴を記載のこと)、⑥学会及び社会における活動など、⑦資格・賞罰(学位など)
- (2) 教育経験と着任後の教育に関する抱負(A4用紙2枚程度)
- (3) 研究業績リスト(A4用紙、研究論文、著書、口頭発表など)
  - ・共著者全員の氏名を書くこと
  - ・応募者の氏名に下線を引くこと
  - ・査読の有無を論文ごとに明示すること(もしくは区別してリスト化すること)
  - ・筆頭著者、責任著者を明示すること
  - ・投稿準備中および審査中の論文は原則として記載しないこと
  - ・参考のため、被引用数並びに掲載誌の最新のImpact Factor を付記すること
- (4) 主要論文(5編以内)
- (5) これまでの研究の概要及びこれからの研究計画(A4用紙2枚程度)
- (6) 外部資金(科研費など)の獲得状況(A4用紙)
- (7) 応募者の業績を評価できる方2名の氏名と連絡先(A4用紙)

8. 選考方法 一次選考(書類選考)及び二次選考(面接)  
なお、面接の際、英語による模擬授業を行っていただきます。  
(なお、旅費等の経費は応募者負担となります)

9. 応募締切 令和8年5月29日(金) 必着

10. 書類提出先 応募書類は JREC-IN Portal Web 応募または郵送にて受け付けます。

【JREC-IN Portal Web 応募の場合】

書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください。

【郵送の場合】

〒920-1192 石川県金沢市角間町 総合教育棟

金沢大学学務部基幹教育支援課基幹教育管理係 共通教育科目教員選考担当宛

「GS科目（認知科学の基礎と社会実装）教員応募書類在中」と朱書のこと（書留又は簡易書留）

※応募書類は原則として返却しません。返却を希望される場合は、郵送料相当の切手を貼付けし、宛先を記載した返信封筒を同封して下さい。

なお、個人情報とは本件以外の目的には使用しません。

11. 問合せ先 金沢大学国際基幹教育院GS教育系長・教授 滝野隆久  
TEL：076-264-5787  
電子メール：ttakino@staff.kanazawa-u.ac.jp

12. その他

- (1) 国際基幹教育院及び担当科目の概要については、次のURLを御覧ください。  
<http://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
- (2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでいます。
- (3) 職階・給与は、学歴・職務経験等を考慮した上で決定されます。就業規則等については、次のURLを御覧ください。  
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- (4) 金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記のURLを御参照ください。  
<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
- (5) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、国際基幹教育院では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。